

# 私たちができる 気候変動への対応策

## 熱中症に備える

### エアコンの使用

室内でも熱中症のリスクがあります。日中だけではなく、夜も注意が必要です。



### 小まめな水分補給

屋外はもちろん、室内でもこまめな水分補給を心がけましょう。



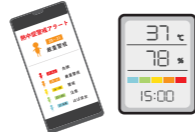
### 日傘・帽子の着用

涼しく過ごす工夫をしましょう。



### 最新の熱中症情報の確認

真夏以外でも急に気温が上がることがあります。最新の情報を確認しましょう。



## 大雨に備える

### ハザードマップや防災マップの確認

身近な場所にどんなリスクがあるかを確認しましょう。



### 避難場所と避難経路の確認

災害が発生した時に備えて、避難場所や避難経路を確認しておきましょう。



### 非常持ち出し品の準備

災害時すぐに避難できる準備をしましょう。



### 最新の気象情報の確認

最新の気象情報を入手できるようにしましょう。



## 温暖化への緩和と適応

地球温暖化には【緩和】と【適応】の2つの対策があります。【緩和】は、CO2などの温室効果ガスを出さないように工夫すること。【適応】は、気温上昇や大雨の増加に備えること。

私たち一人ひとりのライフスタイルの工夫が必要です。環境省が、できることから始める地球温暖化への取組として、ゼロカーボンアクション30を推進しています。



那須地域定住自立圏気候変動対策事業 事務局  
那須塩原市気候変動対策局

〒325-8501 栃木県那須塩原市共壘社108-2  
TEL 0287-73-5651 FAX 0287-62-7500  
メール kikouhendou@city.nasushiobara.tochigi.jp

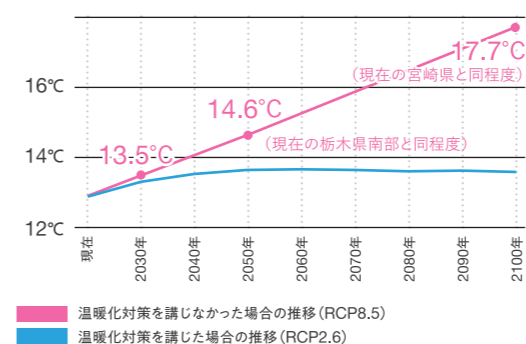
# 大田原市の 気候変動予測

ピンポイント!

気候変動は、市の産業や私たちの暮らしに大きな影響を及ぼす恐れがあります。  
気候変動に適応するために、私たちに出来ることを考えましょう。

## 2050年には栃木県南部と 同水準の気温に…!

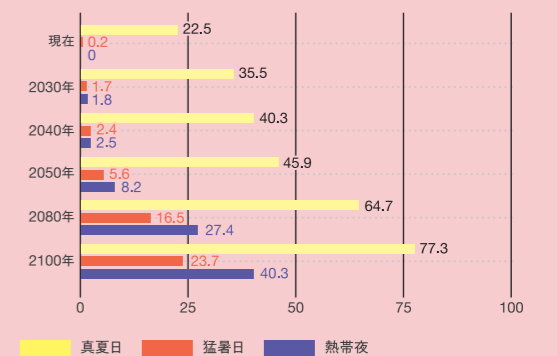
### 大田原市 年平均気温将来予測



大田原市の平均気温は、2050年には現在の栃木県南部と同程度、2100年には現在の宮崎県と同程度にまで上がると予測されます。

## 8月はほぼ毎日が熱帯夜!?

### 大田原市 真夏日/猛暑日/熱帯夜日数 {温暖化対策を講じなかった場合(RCP8.5)}

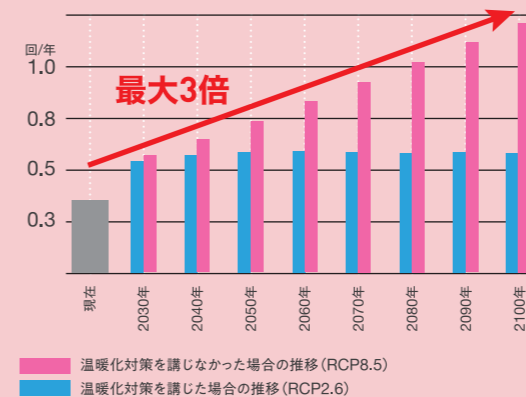


大田原市の夏が一変します。猛暑日・真夏日・熱帯夜が増加すると予測されます。

## 滝のように降る雨は 最大で現在の3倍に増加…!

### 大田原市 滝のように降る雨(※)の 出現回数の将来予測

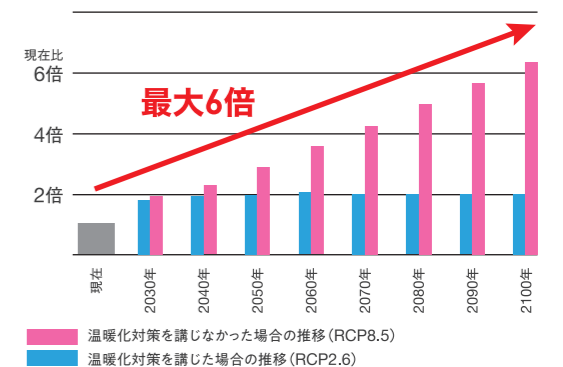
※時間雨量  
50mm以上



滝のように降る雨(時間雨量50mm以上)は、2100年には現在の3倍の頻度まで増加すると予測されます。

## 災害をもたらすような 大雨も増加する…!

### 大田原市 東日本台風(令和元年19号)相当の 大雨頻度将来予測



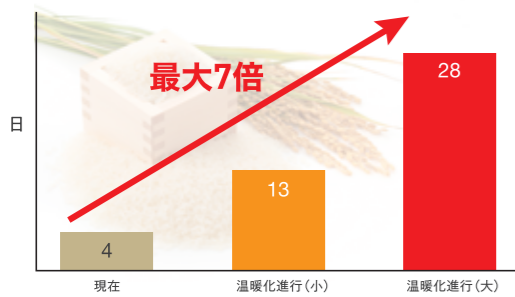
記憶に新しい東日本台風(令和元年19号)相当の大雨の頻度も増加すると予測されます。

# 那須地域の 農業への影響

■ 温暖化進行(小):平均気温が2℃前後上昇した2100年  
■ 温暖化進行(大):平均気温が4℃前後上昇した2100年

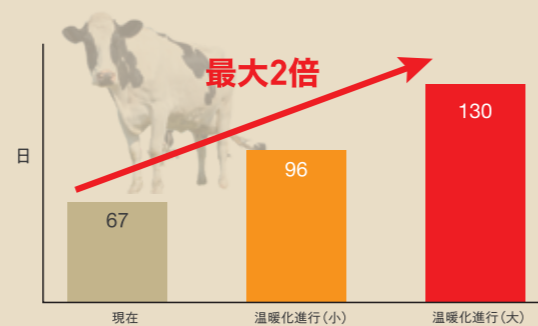
※農作物や搾乳量の影響分析は、将来の気温データを基に行っています。実際の影響は気温以外にも品種や設備等の影響を受けますが、それらは考慮されていません。

## 那須地域 地球温暖化による 水稲の生育不良リスク予想



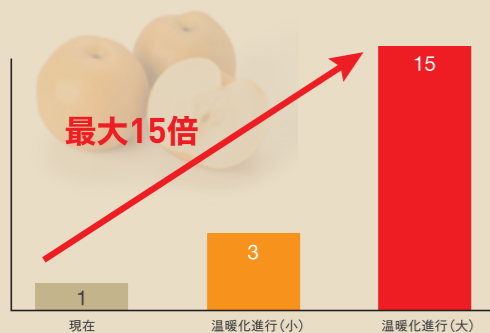
水稲は気温が上がると様々な生育障害が発生すると言われていてます。出穂後の夏場の気温が上がることで、今のようにお米が採れなくなるかもしれません。白未熟粒の発生リスクが高まる出穂時期における32℃以上の日数が現在の最大7倍になります。

## 那須地域 地球温暖化による 搾乳量減少リスク予想



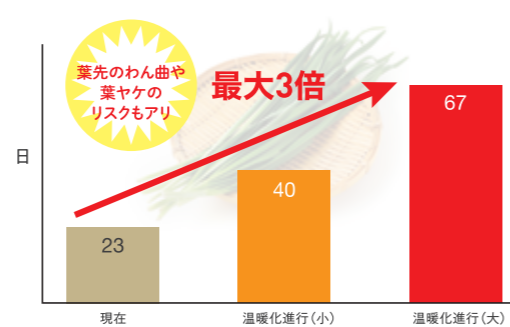
乳牛は気温が上がるとお乳が出にくくなります。温暖化により、夏だけではなく春や秋の気温も上がり、搾乳量が減少する恐れがあります。乳量低下のリスクが高まる日平均気温21℃以上の日数が現在の最大2倍になります。

## 那須地域 地球温暖化による 梨生育不良リスク予想



梨は夏場の高温や、秋から冬にかけての季節外れの高温などに対して敏感な果物です。生育不良の発生リスクが高まる日最高気温35℃以上の日数及び10月の日最高気温25℃以上の日数が現在の最大15倍になります。

## 那須地域 地球温暖化による こら生育不良リスク予想



こらは高温になると育つのが遅くなったり、葉が痛んだりすることがあります。生育が遅くなってしまうリスクが高まる日最高気温30℃以上の日数が現在の最大3倍になります。

### Action!

#### 私たちにできること

- 高温に強い品目、品種の栽培
- 作付時期の見直し
- ハウス栽培における換気、散水、細霧冷房などの暑熱対策
- 病害虫や雑草の発生状況の把握、防除時期・回数の見直し
- 生産者自身の健康管理のため、農作業時間の変更や休憩・給水時間の確保

# 那須地域の 観光への影響

■ 温暖化進行(小):平均気温が2℃前後上昇した2100年  
■ 温暖化進行(大):平均気温が4℃前後上昇した2100年

## 積雪量が足りなくて、ウィンタースポーツが楽しめなくなる!?

### 那須地域 地球温暖化による降雪日数変化予想



最大で  
38%減少

温暖化に伴い冬の気温が上がり、雪の降る日は減っていきます。最大で今よりも38%減の見込みです。

## 桜の開花は早く、秋の紅葉は遅くなり季節感がズレてしまう!?

### 那須地域 地球温暖化による桜・紅葉への影響予想



桜は、那須地域の市街地を対象に、開花の時期を分析。  
紅葉は、那須地域の標高500~600mの地域を対象に、見頃の時期を分析。

桜の開花は現在よりも半月ほど早くなり、紅葉の見頃は現在よりも1ヶ月ほど遅くなるかもしれません。